

「水の知」(サントリー)総括寄付講座 [『水の知』の集約・統合・発信を目指して]

東京大学総括プロジェクト機構

"Wisdom of Water" (Suntory) Corporate Sponsored Research Program Organization for Interdisciplinary Research Projects

<http://www.wow.u-tokyo.ac.jp/index.html>

専門分野：都市水環境学、水資源学、水文社会学

「水の知」とは？

What is "Wisdom of Water"?

2008年4月に水に関する研究を推進するため、東京大学とサントリーホールディングス株式会社によって設置された「水の知」寄付講座は、今年で4年目を迎えました。

「水の知」とは、科学技術のみならず、歴史や文化など、人と水との関わりあいに関する総合的な知識体系を指します。

本講座では、この「水の知」を構造化して社会に発信し、水に対する社会的な関心を高め、水問題の解決と豊かな水環境の創成を促進することを目的としています。



「『水の知』を構造化して社会へ発信」するための主な活動

1. 書籍「水の知－自然と人と社会をめぐる14の視点－」の出版

2009年度に行われた全学自由研究ゼミナール「水で生きる」の講義内容を収録・加筆した書籍を出版しました。本書籍では、水に関連する各分野の第一線研究者・実務者の「水の知」を集約し、各分野の相互関係の体系化を目指しています。



書籍「水の知」の表紙

2. 「水の知検定」の実施

「水の知検定」とは、水リテラシーの普及のため行う検定であり、水に興味を持つ市民を対象としています。水に関する問題を解き、正解と解説を知ることでの、水に関する知識の普及を目的としています。

3. 「世界の水安全保障と日本の科学技術の貢献～問題解決へ向けた「水の知」～」の運営

「水の知」に関する先達によるオムニバス講義を運営し、本学の学部生に向けて「水の知」を発信しています。



4. シンポジウムおよび講演会の実施

シンポジウムや講演会を定期的の実施し、「水の知」の集約と情報発信を行っています。



5. 東大水フォーラムセミナーや合宿の実施

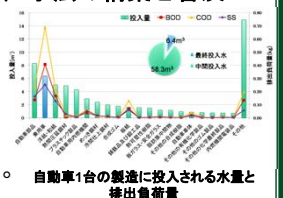
学内研究連携ユニットの東大水フォーラムを利用して学内の「水の知」の集約の実現を目指しています。



“水問題の解決と豊かな水環境を創成する”ための研究活動

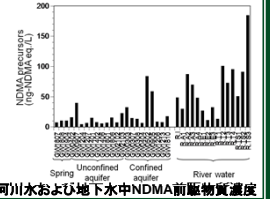
＜水のライフサイクルアセスメント (LCA) 手法の構築と普及＞

工業製品を会した工業用水の利用量について、工業用水や工業製品に関する統計データをもとに明らかにしました。また、Water Life Cycle Assessmentを行うことで、工業製品に「水」という新たな価値基準を持つことを示しました。



＜都市水環境における汚染物質の動態解析とリスク管理＞

地下水や河川水の水質に関する現地観測や室内実験、モデリングを通じて、都市水環境における汚染物質の動態解析を行うとともに、それらによるリスクの評価と管理を行います。



＜統合的水資源管理の実現に向けた国内外の地域研究＞

貧困、人口増加、食糧不足、地域安全保障、そして水不足といった問題に加え、歴史、宗教、民族などの社会問題をも抱えた国際河川流域において、統合的水資源管理の実現に向けた研究を行っています。複雑に絡み合う問題の解決方法を模索するとともに、科学的知見を導入して、問題解決や合意形成に導く可能性や方法論を研究しています。



テグリス・ユーフラテス川流域での調査の様子

＜基本高水に関する計画思想とその背景＞

日本の河川では、ある基準点におけるハイドログラフつまり基本高水をもとに、河川整備が行われています。このような手法は明治期より行われており、本研究ではその設定手法の変遷及び実際の計画内容について研究を行っています。

